

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	建築プログラミング小委員会	主 査 名： 山田哲弥 就任年月： 2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名： 森本信明 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の所有者・利用者・事業主など竣工後に建築を活用する立場から見た価値の高い建築を創り上げるための、経済的・社会文化的価値発現メカニズムを探求する。 ・ 建築プログラミングの知見を広く会員・社会に敷衍、価値の高い建築創造に寄与する。 (2009 年度) ・ 建築を活用する立場で価値発現構造が把握しやすい事業種別を選び、事例調査や公開研究会等により調査・分析、利益や価値の発現メカニズムを検討。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 山田哲弥 (清水建設)、藤本秀一 (建築研究所)、柳澤要 (千葉大)、井上誠 (宮城大)、岡田昭彦 (NTT ファシリティーズ)、毛谷村英治 (立教大)、児玉達朗 (東京電力)、末廣健一 (山陽学園)、津島光 (日建設計)、増村昭二 (日本設計)、松下聡 (福井大)、溝上祐二 (ジョンソンコントロール)、柳父行二 (大阪ガス)、柳沢和彦 (武庫川女子大)	
設置 WG (WG 名：目的)	価値創造モデル化WG：フィーが請求できる建築プログラミングに昇華するために不可欠な投資リターンがどのように形作られるかをモデル化する。	
2009 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/keizai/prg/

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	該当なし
講習会	該当なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	該当なし (来年度公開研究会実施に向け、企画検討中)
大会研究集会	該当なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	該当なし (小委員会主催研究会の事例データにもとづく大会発表 2 件)
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1) 内部研究会開催：吉本興業東京オフィス (旧四谷第五小学校) にて開催。 2) 事例研究：福井市立至民中学校、岡山県立図書館、等を対象に検討中。 3) 研究会の企画検討：福井市立至民中学等で検討。(実施時期未定)
委員会活動の問題点 ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方委員の旅費の確保 ・ HP 更新実務担当者の確保

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。